

子どもたちに夢と希望を

熊本ヴォルターズが表敬訪問

プロバスケットボールのチーム「熊本ヴォルターズ」の監督や選手(9人)、スタッフの計14人が町長を表敬訪問しました。熊本ヴォルターズは、バスケットボールを通して、子どもたちに夢と希望と感動を味わってもらいトップアスリートの技を身近に感じてもらうために県内に発足したプロのチームです。現在、9月28日の開幕戦に向け練習の傍らPR活動として各地域のイベントに出かけ、町でもバスケットボール教室を開催するなど積極的に活動しています。



▲熊本ヴォルターズの皆さん

初めての囲碁で楽しい時間

お帰りなさい1年生

出前囲碁教室が7月23日、武蔵ヶ丘第一保育園で行われました。卒園生の小学1年生21人を招待し、年長組19人と一緒に楽しみました。囲碁は初体験でしたが、囲碁普及会の先生の指導でルールをすぐに覚えることができた子どもたち。確実に相手の石を取りに行く子どもや、先を読んで遠くに打つ子どもなど、考えをめぐらしながら楽しいゲームになりました。うまく石を取れたときは「やったー」と歓声を上げ、うれしそうな表情を見せていました。



▲初めての囲碁を楽しむ子どもたち

おいしいよゴーヤ料理

南方ゴーヤの集い

南方ゴーヤの集いが7月31日、南方公民館でありました。この日は南方の小学生とグリーン(ゴーヤ)カーテン菊陽の皆さんの計30人が参加。熊本の気候風土に合わせたエコライフなどが楽しく書かれている「くまエコ学習帳」を参考に学習しました。その後ゴーヤとスイカの種でブローチを作り、ゴーヤカーテンの涼しさの理由実験をしました。お昼には、ゴーヤ料理を食べました。「ゴーヤハンバーグカレーは全然苦くなくて、とってもおいしい」と好評でした。



▲楽しくゴーヤ料理を食べる子どもたち

スポーツによる地域間交流を目指して

第31回地区対抗軟式野球ナイター大会

第31回地区対抗軟式野球ナイター大会が7月22日～7月29日、町民総合運動場で開催されました。

これは、町内行政区間の親睦を深めることを目的とした大会です。

町内の7地区の学生から還暦を過ぎた選手まで幅広い年齢層の参加があり、観客やチームから大きな声援が送られ熱戦を繰り広げました。

決勝戦では「緑ヶ丘」が「新町」を破り、見事優勝しました。



▲見事優勝を果たした「緑ヶ丘」の皆さん

初めてのホールインワン

北小校区三世代交流グラウンドゴルフ大会

北小校区三世代交流グラウンドゴルフ大会が8月4日、菊陽北小学校の運動場で行われました。

これは、隣近所の関係が希薄になっている中、三世代で楽しくグラウンドゴルフをすることで人とのつながりを密にすることを目的にしたものです。この日は約70人が参加。おじいさんやおばあさんの温かい励ましと指導により、子どもたちもどんだんうまくなっていきました。参加した子どもたちからは「楽しかった。また来年も参加したい」との声がありました。



▲グラウンドゴルフで楽しく交流する参加者

健康・体力づくりに

第12回ふれあいミニバレーボール大会

菊陽町ミニバレー協会(村上緑会長)主催の第12回ふれあいミニバレーボール大会が8月4日、町民体育館と菊陽中学校体育館で開催され、約250人が参加しました。参加者の最高年齢は78歳という幅広い年代と一緒に汗を流し、楽しくプレーしました。優勝チームは次のとおりです。

女子【40歳以上】コロツケR、カレンズB【39歳以下】RA、いちごA 男子【40歳以上】FAN、ボーダーズ【39歳以下】ドナルズI、ソウル



▲汗を流しプレーを楽しむ参加者

笑顔で触れ合い伝える地域の文化

南校区世代間交流事業

南校区世代間交流事業が8月2日、南部町民センターで行われました。これは、交流を通して地区ごとの文化財やふるさとの味を子どもたちの心に思い出として残していくために、平成21年から毎年行われていて、今年で5回目になります。

今年は菊陽南小学校の児童と南校区老人会・南校区青少協など約90人が参加。3年生以上は文化財と交通安全の看板を作り、1・2年生はオリジナルくまモストラップを作りました。ペタンク大会では勝負をめぐって大変盛り上がりセンター内に歓声が響きました。お昼には地域の野菜を使った夏野菜カレーやサラダ、ゴーヤジュース、フルーツ白玉などを食べました。

2年生の山口達矢くんは「ペタンク大会のとき緊張したけれど、おじいちゃんが助けてくれた。とても楽しかった」と話しました。5年生の掘部大誠くんは「手作り看板では自分が作った看板をそれぞれの地区に設置することができてうれしい。僕たちの地域は自然がいっぱいで歴史の重みを感じた。夏休みの楽しい思い出をありがとう」と感謝の言葉を述べました。



▲くまモストラップ作り



▲看板作り



▲ペタンク大会



▲料理をよそう子どもたち